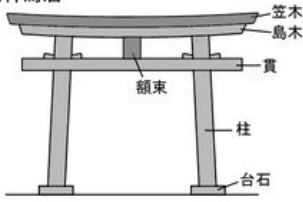




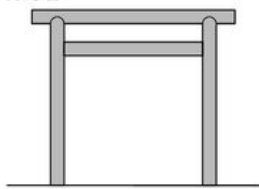
利尻の鳥居



明神鳥居



神明鳥居



鳥居の起源については諸説あり、確かなことは分かっていません。天照大御神（あまてらすおおみかみ）を天岩戸から引きずり出すために鳴かせた「常世の長鳴鳥」（鶏）にちなみ、神前に鶏の止まり木を置いたことが起源であるとする説、インドや中国に起源を求める説などがあります。

語源についても同様に不明で、鶏の止まり木を意味する「鶏居」を語源とする説、「とおりにる（通り入る）」が転じたとする説などがあります。

鳥居は、左図のような神明（しんめい）と明神（みょうじん）の2種類に分類されます。

神明系鳥居

白丸太（樹皮を剥いだもの）



雄忠志内神社
石崎、旭浜、神恵泊、栄浜

白塗り（石造、コンクリート等）



利尻山神社
奥の院、鯨泊、沼浦、北見、金刀比羅、南浜、野中、大磯（北海富士）、神磯、北見富士

朱塗り（朱は魔除け・厄除けの色として用いられたもの）



二石神社
野塚、長浜

明神系鳥居（御影石製）



本泊神社
1838【天保9】年奉納
町指定有形文化財



巖島神社
1830【文政13】年奉納
町指定有形文化財